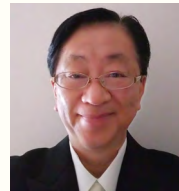




2023年キリスト福音教会秋季聖会 (9月23日滋賀県野洲市さざなみホール)

献身の証し



小学4年の時、町田純福音教会の日曜学校に導かれ、小学5年の夏に、山中湖畔での

林間学校に参加し、キリストの十字架のお話を聞きキリストを信じ受け入れ、クリスチャンとなりました。

日曜学校に毎週通い、中学1年末の3月に水のバプテスマを受けました。あの感動を今も覚えています。

中学2年の夏、夏の聖書週間に初めて参加しました。講師のタパニ・カルナ先生が、ローマ人への手紙を日本語で解き明かしてくださいました。

夜の集会で、すべてをキリストに明けわたすように勧めを受け、献身の思いをもって前に進み跪いて祈りました。この時、神様が私の心を

神の愛と聖霊で満たしてください、聖霊のバプテスマを体験しました。

高校3年の時、進路のために祈っていた時、聖書の言葉が心に響きました。『わたしは、あなたの神、主である。わたしは、あなたに益になることを教え、あなたの歩むべき道にあなたを導く。』(イザヤ書48章

17節) 将来、神様のために働く思い

町田純福音教会派遣牧師 堀 満

が与えられ、アムロス宣教師に相談した時に、進学して大学で学び、キリストを証しするよう励まされました。大学では福音キリスト者学生会に所属し、学友に福音を伝えました。教会の活動にも積極的に参加しました。

大学卒業後3年間社会人として勤務し、2年目に教会主催のイスラエルとスウェーデンに行くツアーに参加しました。イスラエルの旅は、聖書の世界を実感できる感動の旅でした。ガリラヤ湖畔で、ある朝、祈っていた時、イエス様が言われた「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」(マタイ4章19節)の言葉を、私にも語ってくださいたと確信しました。その後ストックホルムのカゲホルム聖書学院で学ぶ機会が与えられスウェーデンでの学びと教会の働きを見たことは、とても有意義な経験でした。帰国後、母教会で約20年間ご奉仕させていただき、その後キリスト教結婚式を通じて、神様の愛を伝えるブライダル宣教の働きに励み、これからも神様の豊かな愛をお伝えしてゆきたいと願っています。

ホーム・オブ・ピースの子どもの証

いつもバングラデシュの貧しい子どもたちのための施設、ホーム・オブ・ピースのために、お祈り、ご支援を感謝します。ホーム・オブ・ピースでは、現在570名の子どもたちが衣食住、教育、そして、信仰の養いを受けています。今回は、ホーム・オブ・ピースの子どもの証を紹介します。

私の名前はサリナ・ハスダです。家にいるとき、私はとても大変でした。母が私を置いて出て行ったからです。父は2度目の結婚をしました。義母は私に辛く当たりました。家事はすべて私がやりました。私は他人と話すことが許されませんでした。義母は私に腹を立てると、食事をろくに与えてくれませんでした。それどころか、私を罰することさえありました。私が本を読もうとして座ると、義母は私から本を取り上げました。夜、父が仕事から帰ってくると、義母は私のことで嘘をつきました。私はその苦しみを誰にも言うことができませんでした。そして、私は自分の家を出て叔母の家に行くことになりました。叔母は牧師たちと連絡を取り、私をホーム・オブ・ピースに受け入



れてもらえるようにしてくれました。ホーム・オブ・ピースに来てから、私はとても元気になり、数日後にはみんなと仲良くなりました。昔の苦しみを忘れさせてくれます。ホーム・オブ・ピースに来て、新しい家族ができました。私はこの喜びと愛と優しさの中で、一步一步目標に向かって進んでいます。私の夢は看護師になることです。特に、私のように苦しんでいる人たちを助けたいです。ホーム・オブ・ピースが私を助けてくれなかったら、私は暗闇の中にいました。私の人生に新しい光を与えてくれたホーム・オブ・ピースにとっても感謝しています。この光のおかげで、私はいま幸せです。

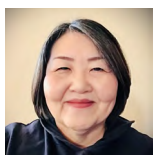
(今年は9月後半から10月初旬にHOPを訪問する予定です。3月に吉田隆先生と成就兄がHOPを訪問してくださいました。グレート・コミッションやアジア・アウトリーチのニュースレターもご覧ください。)



～T P K F 三役の提言～

一致して前進

芳 三容子



素晴らしい主の御名を賛美いたします。主は素晴らしい、そして主にある兄姉と交わりも素晴らしいです。私たちは、神様から与えられているこの交わりの中で共に成長させていただいています。また、一致をもって主に仕えさせていただく中で神様の素晴らしいみわざを見させていただき、体験させていただいています。

今、世界に目を向けるときにたくさんの国々の兄姉たちが日本のために祈り、日本宣教に重荷をもって動いておられるのを知ることができます。日本のリバイバルのために、まずは日本に置かれている私たちが立ち上がり、T P K F の諸教会が一致をもってさらに熱く祈り、仕えていかなければならない時だと思われています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの交わりにも大きな変化がありました。けれども時の流れとともに周りの環境も変化しています。そんな現在、オン

ラインを用いての交わり、そして対面での交わりと両方を使うことができるというダブルの恵みをいただいています。これらを用いてT P K F も交わりをますます強化していこうではありませんか。

私たちは、宣教師たちの派遣国と置かれている地域により現在は三つの大きなグループからなっています。それぞれに特徴は違いますが、互いの特徴を認め、尊重し合い合うときに大きな働きができると信じています。教会がイエス様を頭とした一つの体であるように、T P K F もイエス様を頭としてひとつとなって日本のリバイバルのために用いられると信じて祈っています。北は北海道から南は九州に至るまで私たちT P K F の教会があります。この日本を勝ち取っていきましょう、そしてさらに世界宣教へと広がっていくことを主に期待しましょう。

最後にもう一度、日本のリバイバルを期待して一致をもって仕えていくために、もっと互いに祈り合い、助け合い、神様の新しいみわざに期待して交わっていきましょう！

神様のプレゼントと親の使命

京都キリスト福音教会牧師 置田 信也

「見よ。子どもたちは主の賜物、胎の実は報酬である。」

(詩篇 127 篇 3 節)

子どもは、神様が親となる夫婦に与えてくださる賜物、つまりプレゼントです。しかし、親の所有物ではありません。生まれた時から子どもは人格を持っています。私と妻の恵里子(えりこ)に、神様は二人の息子を与えて



くださいました。二人とも、同じように私たちの遺伝子を受け継いでいますが、好みや性格はまるで違います。長男の仰人(あおと)は中学から

陸上を始め、高校になっても続けています。次男の善樹(よしき)はコンピューター部に入り、喜んで部活動をしています。神様が、それぞれのたましいをお造りになり、人生を与えてくださったのです。親は、養い育てるようにと神様から子どもを委ねられているのです。

子どもが幸せな人生を歩むことを親は願います。しかし、人生には問題や困難が起きます。その問題や困難を乗り切るだけの知恵や力を子どもに持って欲しいと、親は思います。どうすれば、そのような知恵や力を持つことができるのでしょうか。

「主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。わが子よ。あなたの父の訓戒に聞き従え。あなたの母の教えを捨ててはならない。」(箴言 1 章 7 節、8 節)

神様がおられます。この神様は世界を創造されたお方です。そして、私たち人間をお造りになりました。人間は、神様に似せて特別に造られました(創世記 1 章 26 節、27 節)。他の生き物とは違います。私たちは神様からのちと人生を頂きました。それぞれに意味と価値のある人生を、神様が用意してくださっているのです(エレミヤ書 29 章 11 節)。生きていくために必要な知恵と力は神様が与えてくださいます。だから、この世の中のどのような知識や知恵よりも、神様を信じるのが大事なのです。子どもが神様を信じるように導く、親は神様からそのような使命を与えられています。

私はクリスチャンホームに育ちました。妻も同じでした。信仰を持つ親が自分のために祈ってくれている、そ

の恵みと祝福をたくさん味わってきました。それで、息子たちにもぜひ信仰を持ってほしいと願い、祈ってきました。幸いなことに、長男は小学校 4 年生の時に



洗礼を受け(写真上)、次男は小学校 2 年生で受洗しました(写真右)。今では、二人とも大人の礼拝に参加しています。しかし、私たち夫婦は特別なことをしたわけではありません。子どもを日曜学校に連れて行き、誕生日や特別な日を一緒に祝



い、問題がおこった時にイエス様のお名前とともに祈って来たぐらいです。子どもを信仰へと導くことは親の使命ですが、自分たちの力だけではできません。教会の兄弟姉妹の助けと支えが必要です。京都キリスト福音教会の兄弟姉妹が息子たちのために祈り、接してくださっていたことに、私たち夫婦はとても感謝しています。

「父たちよ。あなたがたも、子どもをおこらせてはいけません。かえって、主の教育と訓戒によって育てなさい。」(エペソ人への手紙 6 章 4 節)

洗礼は信仰生活のスタートです。息子たちの歩みはまだまだ続きます。私たち夫婦は、「子どもを怒らせ」ないようにまず自分自身がしっかりした信仰を持っていないかと考えています。これからも子どもたちの信仰の良い手本でありたいと願っています。



あかし

聖霊の力によって

磯子フィラデルフィア教会 永島駿大

私はクリスチャンになって5か月程度の新米クリスチャンですが、勝手なもので、もうすでに洗礼を拒否していたときの気持ちを、かなり忘れてしまっています。(笑)

意外と拒否していたときの気持ちって忘れてしまうものなのかなあと思い、この場を借りてお伝えできれば、何かの役に立つかなと思い、洗礼拒否の心情を思い出してみました。

薄っすらした記憶の糸をたぐったところ

「まあ多神教の中の一人の神様としてのイエス様ならありなんだけど…」

「洗礼受けたら神社とか盆お彼岸とかの日本の文化を大事にできなくなるしなあ」

「イエス様だけ信じたら八百万の神や先祖の霊からバチが当たりそう」といった感じかなあと思い出してきました。

実際のところ洗礼前に多神教や先祖の霊、日本の伝統行事のことを、大事に生活していたかという、まったくしていません(笑)。しかし、拒否真っ只中のときは、「キリスト教は海外の宗教で日本は多神教の国だし、私は日本のこと大事にしてるから」…と思い込んでいるので不思議なものです。もしかしたら、イエスキリストを信じる＝日本文化を粗末に扱ってる感＝なんだかバチ当たりそうと思ってたかもしれません。私の洗礼拒否の心情ですが、いま振り返ると、さまざまなことが複雑に折り重なっている状態なんだなあと思いました。

そのような考えを解きほぐし、イエスキリストに対する信仰が持てたのは、自分の努力ではなく、『聖霊によらなければ、誰も「イエスは主である」と言うことができない』コリント人への第一の手紙12章3節のみ言葉のように聖霊様の力であったのだと思います。

どうかこれからも私のことをお導き、信仰を深めさせてください。



イエス様と出会うため

南さつまキリスト福音教会 有馬早知子

ハレルヤ！鹿児島に来て12年の教会生活となりました。まさにイエス様と出会うために鹿児島に来たのだなあ感慨深いです。もともと私は洗礼は受ける気はありませんでした。夫が予定通りに受洗できず、考える期間ができ、まだ理解しきれていない事もありましたが、洗礼後の学びに期待して受けることに。

その後、日曜礼拝、水曜日の聖書を読む会、教会での交わりの中で、イエス様の血による贖い、私たちの罪のために十字架にかかってくださったこと、イエス様のお名前によって感謝して祈ることが、スッと腑に落ちてゆきました。

また、若い頃から考えてきた、「生きるとは」ということの答えも見つけることができました。それは、『イエス様と出会うため』。私達を創ってくださった、大いなる主から離れて生きてきてしまった私達、そのもとに帰る。まずはそこから。そこからやっと始まる、本当の生、イエス様と共に歩む生が。

私も、もっとこうありたい、こんなこともあんなこともやりたい！とモヤモヤし、辛い時もありましたが、これが御言葉にある「自分を捨てる、主に従う」の第一歩、訓練であるのかなと思うようになり、今は手放せ、また時が来る時まで委ねることができて、清々しい気持ちです。「あなたも、あなたの家族も救われます」の御言葉を胸に、どんな世になり、肉体の生が終わったとしても、また、必ず天の御国で出会えるという確信を与えられていることはなにも代えがたい平安を与えられていますね。

その本来の平安を、救いを一人でも多くの人に伝えたい。弱く、いつその事早くイエス様来てくださらないかな、なんて思ってしまう時も正直ありますが、でも、その時が来るまで、精一杯祈りつつ主に喜ばれることができるように歩んでゆきたいです。

硬く、渴いていた心が潤され、神様の豊かさにもう一度目が開かれ、恵まれたことを感謝いたします。



■ フェロシップデー開催

〈イースト〉



9月18日(月)の祝日にイーストフェロシップデーが御殿場純福音キリスト教会にて、4年ぶりに対面式で開催されました。この日を待ちわびていたイーストのスタッフと兄弟姉妹の多くがフェロシップに参加し、ともにイエス様を賛美し、保土ヶ谷純福音教会の三堂弘治師から語られたメッセージを感謝と共に味わい、喜びの捧げものを主の御前に捧げる素敵な時間を持ちました。楽しく食事の交わりを持った後、午後からは分科会が行われ、聖書Q & Aや証し会など、それぞれのグループが温かい雰囲気の中で、共に笑い、共に祈り、共に交わり、素晴らしい祝福の時がイエス様を通して与えられました。最後にもう一度、チャペルに全員集合して、共にイエス様を賛美し、祝福の祈りをいただき、来年もこのフェロシップで再会することを強く願いつつ、それぞれの帰路につきました。(小川祐司)

■ 春の聖会ほか

〈FCMF〉



5月3日(水)に福井自由キリスト教会を会場にFCMF春の聖会がもたれました。テーマは「回復の年」(ヨエル書2:25～27)、ゲストは京都キリスト福音教会の置田信也師でした。コロナ禍もあり、数年ぶりの開催。約100名が関西、北陸、東海と様々な地域から集まり、2回の聖会で賛美と祈りと御言葉の恵みに包まれました。対面式の良さが再確認で



きた時でした。聖会間に各自で昼食。筆者はヨーロッパ軒のソースカツ丼を、祝日で人があふれる中、待って待っていただきました。

9月17日(日)に敦賀自由キリスト教会ではBBQを行いました。礼拝後に教会前のスペースで焼かれたお肉と野菜に参加者は大いに舌鼓を打ちました。その後、かき氷(まだ暑かった)やゲーム大会、手形押し等で楽しみました。(札幌義宣)

■ 秋季聖会開催

〈キリスト福音〉

日程 2023年9月23日(土・祝)

会場 滋賀県野洲市さざなみホール

講師 山本義武師(福井自由キリスト教会牧師)

テーマ この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。(Iヨハネ5:20)

講師の山本先生は家族5人で来てくださり、ご自分の生い立ちや救いの証を交えながら、父なる神様がこの世にお遣わしになったイエス様との交わりを持つようにと強調されました。(Iヨハネ1章)



講師の山本義武師

午後の聖会では、奥様と娘さんがピアノとフルートのミニコンサートを開いてくださる予定外のこともありました。

また、新教職者、山崎紫音師(雲井キリスト福音教会伝道師)の紹介とあいさつも受けました。祈りの時間も持たれ、終始聖霊様に包まれる雰囲気の中で終えることができました。主イエス様に感謝!(岡部光雄)

■ KBI

コロナ禍が収束して、今年KBIには多くの宣教師が訪れてくださっています。6月にはウクライナ難民支援の関係で、ルーマニア、ポーランド、モルドバから難民支援と宣教の働きをしている3組の先生方をお招きすることができました。やはり実際にお会いすると全然違うと実感しました。それまでニュースで読み、またオンラインで同じ内容のお証を聞いていました。しかし、生(なま)の先生方からダイレクトに伝わってきたのは、最前線の緊迫感、先生方の覚悟と献身、そして上から与えられているパッションと愛でした。

KBIは本科と共にMTC(宣教師訓練コース)、CPRC(教会開拓刷新コース)も並行して行われ、宣教のプラットフォームの役割があると思います。ここに来年度も主が多くの器を送ってくださるよう願っています。続けてご支援をよろしくお願い致します。(関西聖書学院 高橋めぐみ)

教会紹介

甲府カルバリ純福音教会 所在地：山梨県甲府市相生 2-15-10

私たちの教会はスウェーデン、ボーレンゲン教会のサポートにより 1951 年にエバート、マリア・アンダーソン宣教師ご夫妻によりこの地に伝道が開始されました。1953 年に、会堂建築がなされ現在に至っております。1983 年、宣教師ご夫妻が甲府での働きを終え帰国の後、山本師、与久田師に引き継がれましたが、2021 年、与久田師退任後に無牧となりました。この間 TPKF の先生方のお祈りとご支援をいただき礼拝が守られています事、心から感謝でございます。御体なる教会に連なるメンバー一同、御霊の一致、同じ思いとなり主にお仕えしております。今後神様はどのような計画を用意しておられるのか、祈りつつ期待して神様の最善を待ち望み前進していく所存でございます。（平馬安子）



田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) 所在地：滋賀県大津市枝三丁目天神下 480-6

1981 年、T・M 姉妹の民家を借り、田上伝道所「聖書の家」を開設しました。民家も古く改装のため祈っていました時、地元の T・M 姉妹が主から導きを受けられ、100 坪の土地、会堂建築費のためささげて下さいました。そして 2000 年 10 月 29 日献堂式を行いました。今、毎週日曜日（夕拝を行っております。）田上地域の教会員の兄弟姉妹、本教会の礼拝に出席できなかった兄弟姉妹、新来会者、又、ペルーの兄弟姉妹たちと礼拝をしています。ペルーの兄弟姉妹の言葉、スペイン語と日本語と交互に主の栄光を賛美しています。何時も、地域の人々の救いと祝福のために祈っています。皆様、覚えてお祈りください。（四方秋男）

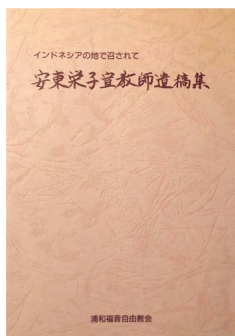


書籍紹介

インドネシアの地で召されて 安東栄子宣教師遺稿集

発行：浦和福音自由教会

申込：アンテオケ宣教会 03-5577-7035（無料ですがアンテオケ宣教会に献金して下さい
れば感謝です）



故安東栄子宣教師は 1986 年アンテオケ宣教会からインドネシアに派遣され、宣教 4 年目の 1990 年 1 月現地で起きた交通事故（41 才）で突然天に召された。

20 才で救われ、インドネシア宣教のために看護師、社会衛生学、助産婦、英語と 18 年間の準備をし、カリマンタンの地に赴任。分け隔てなく村中の人々を愛し、キリストの香りを残し、惜しまれて天に召された。（中見 透）

単立ペンテコステ教会諸教会（名簿順）

北広島自由キリスト教会／平川めぐみ教会／房総中央キリスト教会／大佐和キリスト教会／町田純福音教会／鶴見純福音教会
横浜フィラデルフィア教会／磯子フィラデルフィア教会／金沢フィラデルフィア教会／横須賀クリスチャンセンター
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル／大和あがないの丘キリスト教会／戸塚カルバリ純福音教会／栄シャローム福音教会／伊勢原聖書キリスト教会
秦野クリスチャンセンター／北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会／南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
甲府カルバリ純福音教会／ハーベスト・チャーチ山梨／裾野純福音キリスト教会／御殿場純福音キリスト教会／富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
いのちのパンの家／小松ベタニヤ福音教会／小松南部キリスト教会／ホープハウス／福井自由キリスト教会／ブンキョウゴスペルセンター
松岡福音教会／丸岡福音キリスト教会／勝山自由キリスト教会／The Lighthouse 749（三国）／武生自由キリスト教会
グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会／金津福音キリスト教会／小浜キリスト福音教会／小浜キリスト福音教会三方伝道所／高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会／岐阜純福音白鳥教会／岐阜ライフチャーチ／美濃グレイスチャーチ／本地ヶ原自由キリスト教会
瀬戸サレム教会／大阪キリスト福音教会名古屋伝道所／滋賀キリスト福音教会／守山キリスト福音教会／大津韓国福音教会／大津キリスト福音教会
田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所）／甲賀キリスト福音教会／水口キリスト福音教会／甲西キリスト福音教会
雲井キリスト福音教会／米原キリスト福音教会／綾部キリスト福音教会／亀岡ベタニヤ教会／京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会／深草キリスト福音教会／宇治キリストペンテコステ教会／木幡キリスト福音教会／大阪キリスト福音教会
須磨自由キリスト教会／神戸フィラデルフィア教会／Life Share Christian Center／南さつまキリスト福音教会

以上の教会に 1 部以上を送っています。私たちの願いはすべての TPKF の信徒が 1 部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

TPKF の公式ホームページ <https://tpkf.org/>

